

操作マニュアル

トラブル回避力診断テスト

トラブル回避力診断テスト

このコーナーでは、皆さんが電子商取引で出会うトラブルに
どのように立ち向かうか、トラブル回避力を診断します。
他のコーナーで学習したことを思い出してチャレンジしてみてください。
結果は4段階に評価されます。

テストを始める

トラブル回避力診断テスト



悩みを相談してみませんか？

トラブル相談窓口案内



「トラブル回避力診断テスト」について

「トラブル回避力診断テスト」は、フリマアプリやネットオークションでの電子商取引で遭遇するかもしれないさまざまなトラブルを取り上げ、3択クイズの形にまとめています。それぞれの設問には解説が用意されており、最後に回答者のトラブル回避力を A～D の4段階で評価します。

なお、設問の内容は、この教材の他のコーナーで扱っている情報から出題されています。

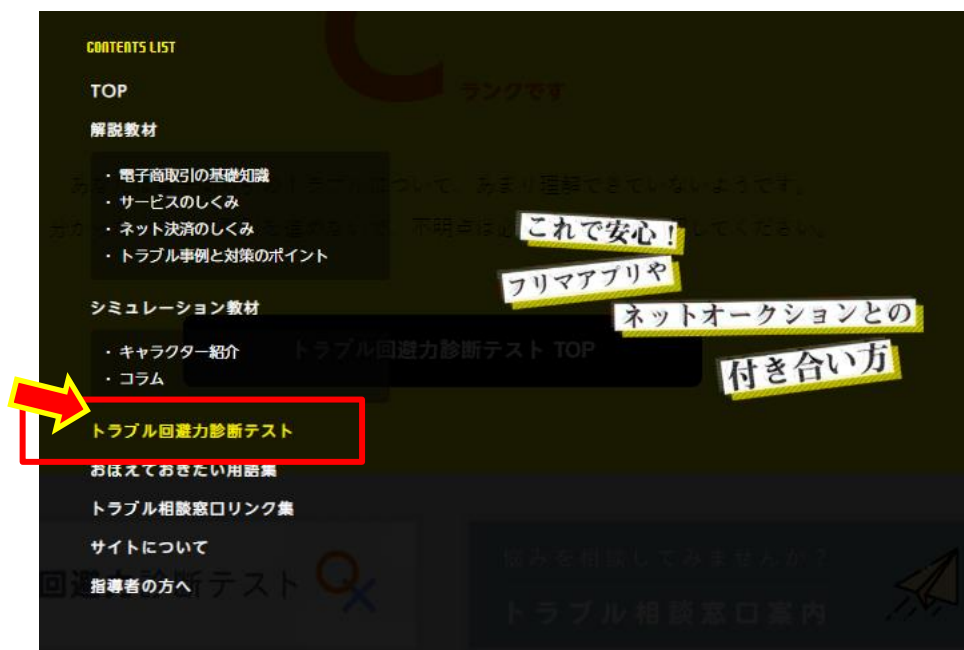
「トラブル回避力診断テスト」を利用する

「トラブル回避力診断テスト」を利用するには、2種類の方法があります。

トップページから利用する場合は、画面下の「トラブル回避力診断テスト」をクリックしてください。



各コーナーの中から利用する場合は、画面左上にある [≡] (ハンバーガーボタン) をクリックして下記の [CONTENTS LIST] を呼び出し、一覧から「トラブル回避力診断テスト」を選択してください。

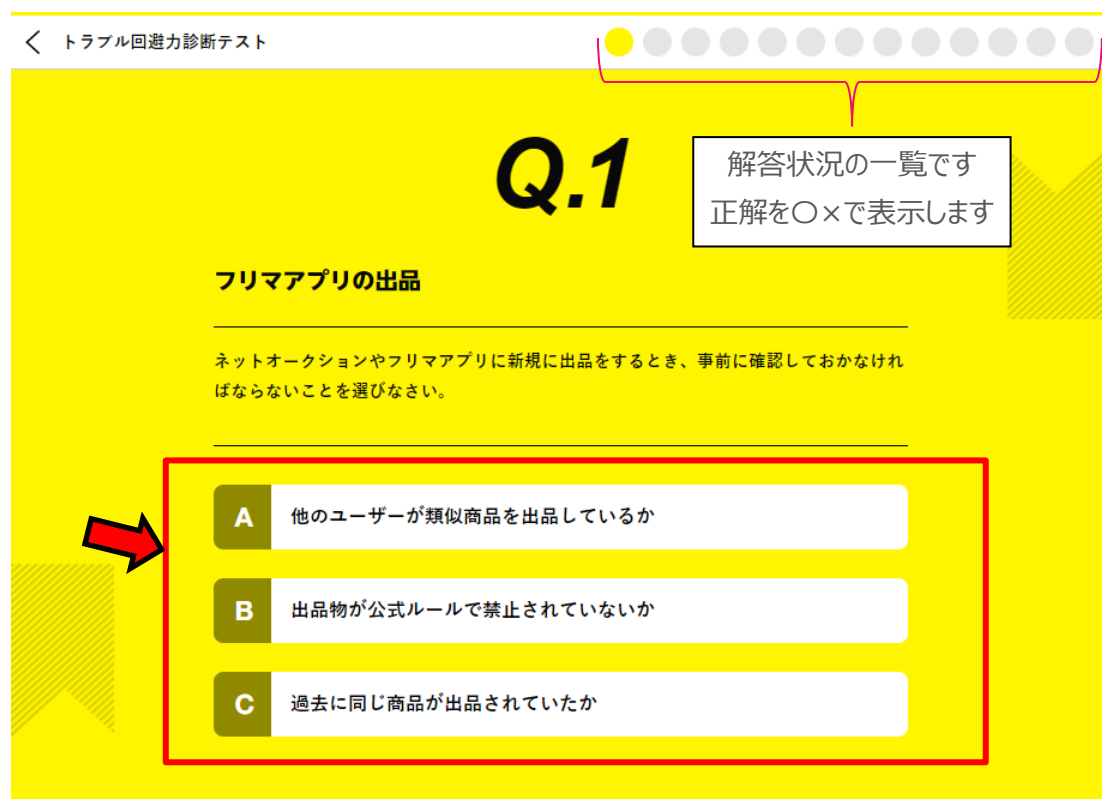


「トラブル回避力診断テスト」の流れ

「トラブル回避力診断テスト」を起動すると、表紙画面が表示されます。テストを開始するには中央の [テストを始める] をクリックします。



全部で 13 問出題されます。学習者は、3 択の解答肢から 1 つを選択してクリックします。



正解した画面です。

トラブル回避力診断テスト

Q.1

フリマアプリの出品

ネットオークションやフリマアプリに新規に出品をするとき、事前に確認しておかなければならないことを選びなさい。

解説

運営会社が定めた出品禁止物のルールは変更されることが多いので、その商品が過去に出品されていても現在出品可能かどうか分かりません。また、その商品が出品禁止物にあたるかどうかという運営会社の判断は、出品時に自動で行われるのではなく、出品された物に対して行われているため、出品禁止物が売られてしまうことがあります。

次の問題へ

誤答した画面です。

トラブル回避力診断テスト

Q.2

出品禁止

Aさんは、ガイドラインで出品禁止物でないことを確認して、不用品をフリマアプリで販売した。
数ヶ月後、同じ商品を販売しようとフリマアプリに出品したところ、今度はフリマの運営会社から出品を取り消されてしまった。
その理由として考えられるものはどれか？

解説

出品禁止物は公式ルールで定められていますが、法律が改正されたり世の中の情勢が変化すると、禁止物が追加されたり変更されることがあります。新型コロナウイルスによって市場からマスクがなくなると、それを見越してフリマアプリやネットオークションで衛生マスクを高額で転売するユーザーが問題になりましたが、当初は電子商取引サービスを提供するプラットフォーム各社が自主的に対応していたため、高額転売を防ぐことができませんでした。その後、国からプラットフォームに対し高額転売を制限する要請が出され、プラットフォームは公式ルールの変更で対応しましたが、それでも高額転売が収まらず、ついには国が新たに法律を作って罰則を設ける形で制限することになったのです。

全ての問題に解答すると、評価が表示されます。

トラブル回避力診断テスト、あなたの電子商取引のトラブル回避力

解答状況の一覧です
正解をO×で表示します

C
ランクです

あなたは電子商取引のトラブルについて、あまり理解できていないようです。
分からないままに取引を進めないで、不明点は必ずこの教材で確認してください。

トラブル回避力診断テスト TOP

評価は4段階（A～D）で、正解数に応じて自動評価されます。

「トラブル回避力診断テスト」の問題が更新された場合は、I-ROI のデジタル教材サイトで告知します。